

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立男女共同参画センター子育て活動支援館
施設所管課・担当	市民局ダイバーシティ推進室男女共同参画課（電話：06－6208－9156） こども青少年局子育て支援部管理課（電話：06－6208－8112）
条例上の設置目的	男女共同参画社会の実現、子育て支援と男女共同参画を一体的に推進する拠点として、男女が社会の対等な構成員として社会のあらゆる分野における活動に参画し、個人として能力が発揮できるよう多面的な支援を行うことにより、男女共同参画社会の形成に寄与することを目的とする。
業務の概要	複合施設として他の施設との連携のもと、センター施設の管理・運営、男女共同参画社会の形成に関する情報の収集及び提供、男女共同参画社会の形成に関する講演会・講習会・研修会等の開催、相談事業、男女共同参画社会の形成と子育て支援に関する啓発、子育て支援に関する人材育成のための講習会、研修等の開催、その他市長が必要と認める事業
成果指標	講座受講者数／講座受講者満足度／情報・図書コーナー利用者数
数値目標	2,000人以上／80％以上／2,200人以上
指定管理者名	大阪市男女共同参画推進事業体（北） （代表者）一般財団法人大阪男女いきいき財団 （構成員）グローブシップ株式会社
指定期間	令和 2 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
評価対象期間	令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	講座受講者数	講座受講者満足度	情報・図書コーナー利用者数
数値目標	2,000人以上	80%以上	2,200人以上
年度実績	2,272人	97.5%	2,954人
達成率	113.6%	120.0%	134.3%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	32,066人	29,946人	2,120人
稼働率	－	－	－

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	120,271,000	122,267,163	1,636,000	施設管理費の増額等のため
	計画	118,635,000	118,635,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
その他収入 （自主事業収入）	実績	2,479,400	2,339,100	385,400	
	計画	2,094,000	2,076,000		
合計	実績	122,750,400	124,606,263	2,021,400	
	計画	120,729,000	120,711,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	72,510,515	73,511,377	15,110,515	一部の項目において人員増のため
	計画	57,400,000	57,400,000		
物件費	実績	64,061,630	65,990,598	2,826,630	施設管理費の増額等のため
	計画	61,235,000	61,235,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	1,874,948	1,825,346	△ 219,052	
	計画	2,094,000	2,076,000		
合計	実績	138,447,093	141,327,321	17,718,093	
	計画	120,729,000	120,711,000		

令和6年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
講座受講者数	113.6%	A	
講座受講者満足度	120.0%	S	
情報・図書コーナー利用者数	134.3%	S	

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・ 保育室のLED照明化を図り、管理経費の削減に向けた取組を継続的に行った。 ・ コラボ型セミナーなど、施設機能を活かしながら、職員がコーディネート等を行い、施設・事業運営の一体化や効率化を図った。	B	・ 施設運営と保守業務の専門性を持つ事業体構成員の強みを活かして、効果的で効率的な維持管理を行った。

（3）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	S	・ 施設・備品等の維持管理に関し、損傷等に係る本市への報告にあたっては、その具体的な内容の明示とともに改善提案がなされている。 ・ 親子、障がいのある方及び高齢の方並びに外国人の利用者への配慮・対応がなされている。
	事業計画の実施状況	A	・ 女性の参画拡大に寄与する新たなテーマとして、市の就労支援機関と連携したセミナーや子育て中の多様な働き方を提案したセミナー等を実施した。 ・ 継続的に実施している「地域×子育て支援」セミナー修了生が、クレオ大阪において講師依頼やイベント参加やファミリー・サポート・センター事業への参画等、多数の協働事例へ繋がり、人材育成および発掘、女性地域人材活用の機会となった。 ・ 女性総合相談センターと連携を図りながら、女性の悩み相談・男性の悩み相談・子育て相談の3つの機能を相談内容により適切に活用できるよう案内するほか、子育て相談の認知を広げるため、トイレ等へ名刺サイズのカードの設置、保育室開放利用者へ専門相談の周知や空き状況の情報提供を実施した。 ・ 「プレパパ応援！パパのための出産準備講座」が全国女性会館協議会2024年度「”スライド1枚で見せる”イチオシ事業大賞」の3位に入賞した。 ・ 同じテーマで子育てに悩む保護者を対象に、区役所・市関連施設やNPO等の専門機関との連携により、保護者同士の出会いの場となるとともに、より具体的な支援へ繋げた。 ・ 各子ども・子育てプラザから情報更新時の問い合わせや大阪市子育て支援情報等を随時更新した。
	施設の有効利用	B	・ さらなる稼働の向上を図るべく、地域団体・人材と協働し、施設利用促進及び有効活用のための事業を積極的に展開した。

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

社会的責任・市の施策との整合性	S	・インターンシップ、就労体験について、多くの教育機関から実習体験を受け入れを行うとともに、他都市等の行政視察や子育て支援センター等の視察の対応を行った。 ・大阪市ファミリー・サポート・センタ-事業の提供会員を養成する講座を 4 クール実施した。提供会員として活動するには2か年度以内に全科目を履修する必要があり、補講受講については各区子ども・子育てプラザでの受講者も連携して受け入れた。有資格者（保育士・看護師等）には免除科目があるが、全講座の受講を推奨した。
-----------------	---	--

5 利用者ニーズ・満足度等

【令和 6 年度実績】		
受講者満足度	(1) 97.0% (男女共同参画セミナー)	(2) 97.9% (子育て支援セミナー)
【参考：令和 5 年度実績】		
受講者満足度	(1) 95.6% (男女共同参画セミナー)	(2) 96.7% (子育て支援セミナー)

令和6年度 指定管理者年度評価シート

6 外部専門家意見

・男女共同参画センターが実施するイベントは、クレオの認知度を上げるためのものと男女共同参画の理解を深めていただくものを切り分けて、それぞれ意識して実施されるべき。 ・ファミリー・サポート・センター事業について、依頼会員に対して提供会員が少なくマッチングしにくい現状があるので、子育て支援員等の他事業に参加されている子育てに熱心な方々にアプローチしてはどうか。 ・小さなお子さんをもつパパ・ママと、小・中・高校生が一緒に関わるイベント等で子育ての大切さを知っていただける、または高齢者の方が一緒に関わることで子育てのアドバイスいただける機会になるのでは。居場所や地域の交流にもなると思う。 ・「子育て相談」というと小さいお子さんをもつ保護者が対象と思われる場合があるので、思春期の子どもをもつ保護者まで幅広く対象としているということをしっかりアピールをすることでニーズの拡大が図れるのではないか。 ・厚生労働省では現在、夫婦や家族だけでなく職場、地域等の社会全体を巻き込んだ「共育（トモイク）プロジェクト」を進めているが、今後は祖父の関与、孫育てといったことにも広げていけるのではないか。
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	S	・講座受講者・受講者満足度、情報・図書コーナー利用者数のすべての項目で数値目標を上回った。
市費の縮減	B	・利用者サービスの向上に努めつつ、限られた予算の範囲内で多様な事業が実施できるよう経費を抑えながら効用を最大化する施設・事業運営が行われた。 ・物価高騰が続いているものの、今後も経費削減に努めていただきたい。
管理運営の履行状況	A	・利用者や受講者の要望を把握し、数値目標の達成に向けて課題を分析し、引き続き利用促進に努められたい。 ・地域の特性や特色等を把握し、ニーズに合わせた事業を実施されたい。 ・男女共同参画センター各館と連携し、各館で事業のすみ分けを行うなど、幅広い分野をカバーして男女共同参画施策を展開されたい。 ・イベント等の開催にあたっては、参加者数や施設認知度の向上の観点と、男女共同参画の理解促進の観点を切り分けて、それぞれ意識的に企画・実施されたい。 ・ファミリー・サポート・センター支援事業については、引き続き提供会員の確保や高齢化対策について検討されたい。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性	A	・令和3年3月に策定した「大阪市男女きらめき計画」の趣旨・目的を踏まえた適切な管理運営が行われていると評価できる。 ・引き続き、男女共同参画拠点施設、子育て活動支援拠点施設という機能を積極的に活かした一体的な事業展開に期待する。
総合評価		